令和４年度 公立小松大学入学者選抜試験
一般選抜（前期日程）試験問題

小 論 文

【国際文化交流学部】
国際文化交流学科

（注意事項）

1　問題用紙は指示があるまで開いてはいけません。
2　問題用紙は本文３ページです。答案用紙は２枚です。
3　答案用紙の所定欄に受験番号を記入しなさい。
4　答えはすべて答案用紙の指定のところに、横書きで記入しなさい。
5　アルファベット文字や数字は、１マスに１字で記入しなさい。
6　字数制限のある解答については、句読点を１字と数えること。
7　試験終了後、問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってください。

著作権の関係上非公表としております

出典：国際交流基金編『国際文化交流を実践する』白水社、2020 年。

Ⅱ．以下の文章では、異文化コミュニケーションにおいて私たちが他者に押し付ける文化的な“norm”についての考察が行われている。この文章を読み、下記の問いに答えなさい。

著作権の関係上非公表としております

注　siblings: 兄弟・姉妹

peers: 同僚・仲間

self-reliant: 自立した

cultural conditioning: 文化的条件付け

incidentally: ちなみに

出典：Storti, Craig. (2017) *Cross-Cultural Dialogues: 74 Brief Encounters with Cultural Difference, second edition.* Intercultural Press.

［問１］　我々が他者にいとも簡単に自らの文化的な“norm”を押し付けてしまう理由を、本文の内容に即して200字以内で記述しなさい。

［問２］　本文の内容をもとに、異文化コミュニケーションにおいて“norm”をめぐって生じうる問題とその解決の方法について、300字以内で記述しなさい。